

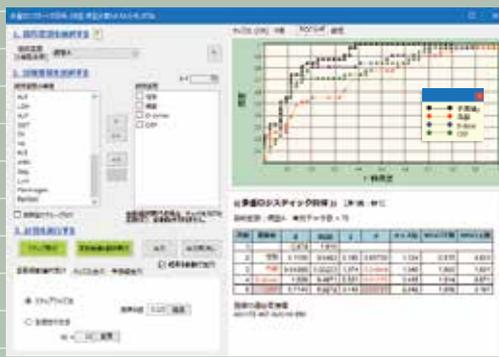
充実の統計分析機能

機能UP 重回帰分析



説明変数自動選択実行で最適な回帰モデルを算出。標準偏回帰係数やP値の比較図を作成。回帰の適合度をグラフ表示。回帰予測値は、異なる頁のデータにも適用可。説明変数セットを固定し、目的変数を自動的に置換した連続実行にも対応。

機能UP 多重ロジスティック回帰分析



重回帰同様、最適な回帰モデルの算出を支援。オッズ比やP値の比較図や、回帰予測値を用いたROC分析図も自動表示。オッズ比の計算は変化幅指定に対応。対応のある患者・対照研究用に、条件付きロジスティック回帰も利用可*1

機能UP 1~3レベル分散分析



従来の一元配置分散分析と2,3レベル枝分かれ分散分析を統合、層別化変数を1~3レベル指定して、複数の変数に対し同時実行一括作表。仕切りの登録で連続変量も層別化変数に利用可。

機能UP Cox回帰分析



最適な回帰モデルの構築を支援。相対リスクやP値の比較図、および推定生存曲線を表示。相対リスクは、任意の変化量の指定に対応。推定生存曲線の群分け表示に対応。各個人の予測リスクを算出。

機能UP 主成分・因子分析



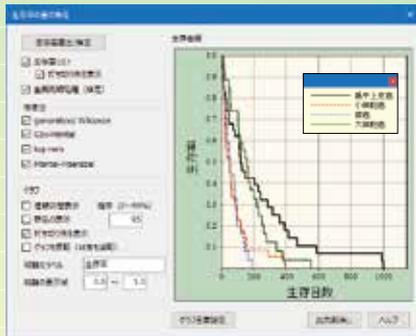
多変量情報の要約(次元圧縮)を目的として主成分分析、変数間の共通性の分析を目的とした因子分析に対応。抽出因子毎に、因子負荷量のパターンをグラフ表示。*1

新機能 信頼性分析



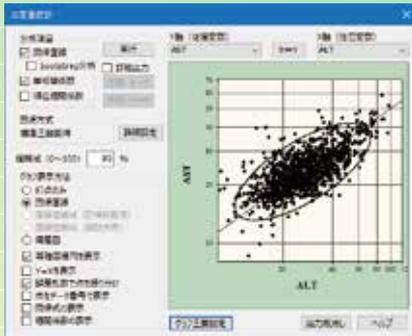
質問票の分析評価のための統計量(クロンバックの α 、I-T相関、Kendall一致係数、級内相関係数)を算出。

機能UP 生存曲線分析



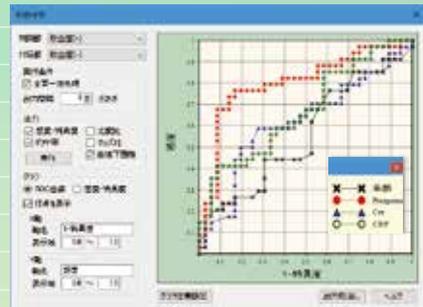
Kaplan-Meier方式の生存曲線の作図と検定(一般化Wilcoxon、Cox-Mantel、Log-rank、Mantel-Haenszel検定)、生存期間中央値を算出。縦軸の逆転で死亡率曲線の作成にも対応。

機能UP 二変量解析



5種の回帰直線の計算方式(Deming回帰、標準主軸回帰、Passing-Bablok回帰)に対応。いずれも回帰係数の信頼区間をbootstrap法で算出可。Altmanの偏差図にも対応。2次元散布図に等確率楕円と回帰直線を重ね表示。

ROC分析



任意のカットオフ値を指定した、感度・特異度・オッズ比・尤度比を計算。ROC曲線は、曲線下面積の差の検定にも対応。感度・特異度曲線から、カットオフ値を提示。

*1 別途Rのインストールが必要

機能UP その他の統計機能

- ノンパラメトリック統計量に対する精密なP値の出力^a
- 群間比較を全頁一括実行し、結果一覧表を自動出力^b

- 基本統計量(パラメトリック/ノンパラメトリック計算とカテゴリ集計表の作成)
- 独立2群・多群間の差の検定^{a,b}(2標本t、Mann-Whitney U、F検定、一元配置分散分析、Kruskal-Wallis、Bartlett検定)
- 関連2群・多群間の差の検定^{a,b}(1標本t、符号、1標本Wilcoxon検定、二元配置、繰り返しのある二元配置、3元配置分散分析、Friedman、Bartlett検定)
- 多重比較法^a(Tukey、Scheffe、Dunnnett、Dunn(2種)、Newman-Keuls検定)

- 特殊な分散分析(混合デザイン分散分析)
- 相関係数(単相関・偏相関・Spearman順位相関の行列出力と検定)
- 多変量2群間検定(Hotelling T²検定、判別分析、直線回帰係数の差の検定)
- 階層化クラスター分析(Ward法、重心法、他)
- 計数値の検定、2×2分割表(Fisher直接確率法、 κ 統計量、 ϕ 係数、Q係数、McNemar検定)、I×M分割表、母比率、比率の差の検定、 χ^2 適合度検定
- 乱数割付機能